

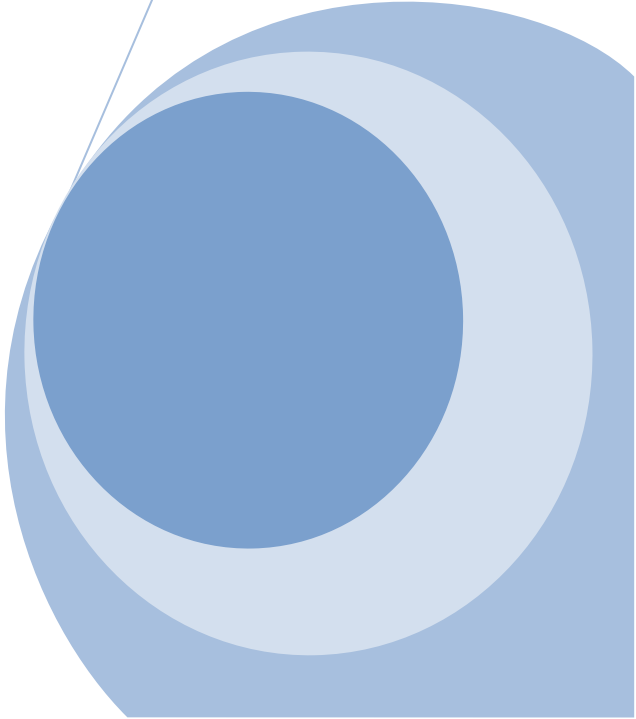


教員免許状更新講習

講習概要

2010年度 近大姫路大学

P1~P3	今、学校づくりに求められる教育の最新事情
P4	身体表現・造形表現
P5	楽しくやる気を起こさせる理科授業のしかけ方
P6	言葉と表現
P7	表現力豊かな子どもを育てる音楽の授業づくり
P8	発達臨床に基づく教育
P9	障害のある子どもの教育とケア
P10~P11	養護教諭の今日的役割



科目名	今、学校づくりに求められる教育の最新事情	区分	必修
開講日	平成 22 年 7 月 17 日（土）・7 月 18 日（日）		
講 師	鈴木正幸（教育学部教授）谷口育史（教育学部准教授）大西雅子（教育学部助教） 戸江茂博（教育学部教授）長瀬善雄（教育学部准教授）		
準備物 (持ち物)	なし	評価 方法	筆記試験 認定 9月下旬(予定)

《第 1 日目》

7 月 17 日（土）9:30～10:50	1 号棟 304 講義室	戸江 茂博
<p>■教職についての省察</p> <p>学校は、公共の施設として社会や状況の変化と共にある。教育施設としての役割や意義は、変化する時代、社会や親の期待と共に、変化を余儀なくされる。生涯学習が求められる時代に学校はどのような存在意義を持つのか。義務教育としての学校の意味は変化しないのか。教育空間としての本来の教育機能を再考しつつ、その教育空間に身を置く教員のあり方や役割について考えてみたい。</p> <p>①学校や教員を取り巻く社会状況の変化 ②専門職としての教員への期待</p>		
7 月 17 日（土）11:00～12:20	1 号棟 304 講義室	戸江 茂博
<p>■教職についての省察</p> <p>江戸時代、コドモは「小共」と呼ばれていた。明治時代以降、コドモは「小供」、「子供」、「子ども」と表記を変えてきた。近年では、「こども」が使用されることも多い。「小共」と「子ども」は同じ存在であろうか。表現が変わることで、その意味も変わるのだろうか。社会における子どもの誕生や発見の基本的な意味に遡りながら、子どもとは何か、そして子ども観や教育観のあり方や変遷について考えてみたい。</p> <p>①子ども観、教育観等についての省察</p>		
7 月 17 日（土）13:10～14:30	1 号棟 304 講義室	鈴木 正幸
<p>■学校の内外における連携協力についての理解</p> <p>学校及び教育活動全般における危機管理上の課題を俯瞰し、学校内外の安全にかかわる今日の状況と防災教育及び学校事故と危機管理の在り方について考察する。</p> <p>①学校の役割と家庭、地域社会との連携（コミュニケーションの形成、対人関係など） ②危機管理の実際について（子どもの安全確保、情報セキュリティなど）</p>		

7月17日(土) 14:40~16:00	1号棟 304 講義室	谷口 育史
<p>■子どもの変化についての理解</p> <p>現代社会における子どもの意識や生活が従来から大きく変化していることの影響や、原因を探りつつ、課題克服のための対応や取り組みの在り方について概説する。</p> <p>①子どもの変化や特性に応じた学級経営の在り方 (子どもの居場所づくりを意識した学習・生活集団形成など)</p> <p>②子どもの今日的課題と生徒指導、進路指導、教育相談の理論と方法 (社会的、経済的環境の変化に対応したキャリア教育の進め方など)</p>		
7月17日(土) 16:10~17:00	1号棟 304 講義室	戸江 茂博
■筆記試験		

《第2日目》

7月18日(日) 9:30~10:50	1号棟 304 講義室	長瀬 善雄
<p>■教育政策についての理解</p> <p>近年における教育政策の動向をふまえて、「学習意欲」について概説する。学習意欲の向上や学習習慣の確立などについて、中央教育審議会の答申に示された教育理念との関連を図りながら概説する。</p> <p>①学習指導要領の改訂の動向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲を喚起する学習指導 ・子どもの実態を踏まえた道徳・特別活動の指導など <p>②法令改正及び国の審議会の状況等</p>		
7月18日(日) 11:00~12:20	1号棟 304 講義室	長瀬 善雄
<p>■学校の内外における連携協力についての理解</p> <p>教職員一人ひとりが「マネジメント・マインド」を形成していくためには、これからの学校経営に求められる「学校組織マネジメント」についての理解が大切である。そのため、本講義では、学校組織マネジメントの考え方を中心に概説したい。また、保護者・地域社会との連携については、各受講生の学校園等の状況を踏まえながら望ましい協力の在り方について考えてみたい。</p> <p>①様々な問題に対する組織対応の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校組織の一員としてのマネジメント・マインドの形成 ・保護者・地域社会との連携 ・対人関係、日常的コミュニケーションの重要性 		

7月18日(日) 13:10~14:30	1号棟 304 講義室	大西 雅子
<p>■子どもの変化についての理解</p> <p>「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見（特別支援教育に関するものを含む）」</p> <p>最新の脳科学研究に基づき、解明されてきた発達障害を理解するために有用な研究、及び情報を紹介すると共に、最新の各種心理療法、またスキルトレーニングについて紹介する。また、近年では運動療法にも注目が集まり、効果を上げているものとして動物療法の中でも馬介在療法についても事例をあげ、演習を交えながら紹介する。</p> <p>①子どもの発達臨床から見た教育Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新の脳科学研究から解明されてきた発達障害のメカニズムや有効な各種療法について紹介する。 		
7月18日(日) 14:40~16:00	1号棟 304 講義室	大西 雅子
<p>■子どもの変化についての理解</p> <p>①子どもの発達臨床から見た教育Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害の傾向を有する児童・生徒に「対して行われる治療教育的アプローチから行われている最新の各種療法を事例と共に紹介し、教育現場において活用し得るトレーニング方法をレクチャーする。 		
7月18日(日) 16:10~17:00	1号棟 304 講義室	長瀬 善雄
<p>■筆記試験・(筆記試験終了後) アンケート</p>		

科目名	身体表現・造形表現			区分	選択
開講日	平成 22 年 7 月 25 日 (日)				
講 師	井上龍彦 (教育学部教授) 今野賛 (教育学部助教)				
準備物 (持ち物)	体育館シューズ、運動できる服装、 10牛乳等の紙パック	評価 方法	筆記試験	認定	9月下旬 (予定)

7 月 25 日 (日) 9:25~9:30	体育館	今野 賛
■オリエンテーション		
7 月 25 日 (日) 9:30~12:20	体育館	今野 賛
■こどもと表現 (体育) -動きづくりを中心とした体育授業の展開-		
<p>2008 年に改訂された学習指導要領において「体づくり運動」が小学校低中学年にも位置づけられ、より一層重視していくことが謳われている。そこで、近年の学校体育を取り巻く状況や海外の動向などをふまえて「体づくり運動」について説明し、そのねらいや授業構成上の視点や方法を確認する。その後、「体づくり運動」の典型教材をいくつか紹介し、その指導上の留意点などを演習形式で説明する。</p>		
7 月 25 日 (日) 13:20~16:00	2 号棟 302 図画工作室	井上 龍彦
■「身近な素材で作る楽しい造形教材の研究」		
<p>幼稚園、小学校で子どもたちが興味を持って取り組める動くおもちゃ的な造形教材を製作します。紙のバックや色画用紙、色紙、ストロー、ナイロン袋等を利用して、いくつかの課題を製作していただきます。時間に余裕があれば、教材の参考になりそうな映像も鑑賞していただきます。</p>		
7 月 25 日 (日) 16:10~17:00	2 号棟 301 講義室	長瀬 善雄
■筆記試験・(筆記試験終了後) アンケート		

科目名	楽しくやる気を起こさせる理科授業のしかけ方			区分	選択
開講日	平成 22 年 7 月 31 日 (土)				
講 師	内山裕之 (教育学部准教授) 大黒孝文 (同志社大学教職課程センター特任教授) 秋吉博之 (就実大学人文科学部准教授) 武田富美子 (立命館大学生命科学部准教授)				
準備物 (持ち物)	なし	評価 方法	筆記試験	認定	9月下旬 (予定)

7 月 31 日 (土) 9:25~9:30	1 号棟 3 階 301 実習室	内山 裕之
■オリエンテーション		
7 月 31 日 (土) 9:30~10:50	1 号棟 3 階 301 実習室	内山 裕之
■「子ども一人ひとりに課題意識を起こさせる導入および実験・観察の工夫」 上記のテーマについて事例を挙げて解説します。「子どもの素朴概念に寄り添うこと」、「意外性のある課題により認知的葛藤を起こさせ、やる気につなげること」、「手作り教材やマイクロスケール実験で楽しい理科を心がけること」がキーワードです。		
7 月 31 日 (土) 11:00~12:20	1 号棟 3 階 301 実習室	秋吉 博之
小学校理科 6 年「大地のつくり」を例にとり、授業の進め方を具体的に解説します。簡易なアンケートによって児童のレディネスを知り、その結果から授業を準備することをお示しします。特に観察する露頭の少ない地域では、地層を教室に持ち込むことのできる「はぎ取り地層」が効果的です。この製作方法について解説します。		
7 月 31 日 (土) 13:00~14:20	1 号棟 3 階 301 実習室	武田 富美子
■「協同学習に使えるドラマの技法」 「学びの即興劇」は環境教育に身体表現を取り入れる試みから生まれました。ドラマとは、何かまたは誰かになってみることです。身体で表現することで、コミュニケーションを促進し、想像力を養います。今回は、環境学習や理科の協同学習に使えるいくつかのゲームやスキルを紹介します。		
7 月 31 日 (土) 14:30~15:50	1 号棟 3 階 301 実習室	大黒 孝文
■「協同学習の理論と方法を学ぼう」 協同学習の方法をナラティブアプローチを取り入れたマンガを用いて学びます。ナラティブアプローチ (Narrative Approach) とは、物語の主人公になって学習することで、単に知識を覚えるのではなく、「いつ」どのように「知識を活用するのか」という、状況判断力や適応力を身につける学習手法です。また、理科の学習場面をマンガで表現することで、ふり返りが容易で解釈の多義性が生かせるという利点があります。協同学習をぜひ、あなたの授業に取り入れて下さい。		
7 月 31 日 (土) 16:00~16:50	1 号棟 3 階 304 講義室	内山 裕之
■筆記試験・(筆記試験終了後) アンケート		

科目名	言葉と表現			区分	選択
開講日	平成22年8月1日(日)				
講師	渡瀬茂(教育学部准教授) 玉巻欣子(看護学部講師) 吉田晃高(教育学部講師)				
準備物 (持ち物)	なし	評価 方法	筆記試験	認定	9月下旬(予定)

8月1日(日) 9:25~9:30	1号棟3階 303LL教室	玉巻 欣子
■オリエンテーション		
8月1日(日) 9:30~11:10	1号棟3階 303LL教室	玉巻 欣子
<p>この授業は、子どもたちに、英語絵本の読み聞かせをしたり、マザー・グースの歌を楽しむことができるようになることを目標とします。そのために、音声学・音韻論的知見も紹介しつつ、英語の発音の仕方、音読の仕方など基本的な英語の復習を行います。その後、絵本の読み聞かせも体験して頂きます。またマザー・グースの詩の由来、歌に合わせた手遊び、ゲームなどについても紹介し、興味を深めて頂きたいと思っています。</p>		
8月1日(日) 12:20~14:00	2号棟4階 402会議室	吉田 晃高
<p>ことばと表現を育むために必要なことは何か。日本語を母語としない子どもをとりあげ、子どもとことばの関係について考えていきます。</p> <p>まず、日本語を母語としない子どもたちの抱える問題を見ていきます。次に、日本語を母語としない子どもの日本語習得の様子、教科学習のための言語能力、母語の発達と日本語能力、周囲の大人による接し方、母語保持と継承語の問題などについて考えます。また、日本語を母語としない子どもたちが学校において学ぶ「日本語」および「国語(科)」が日本語教育と国語(科)教育との接点となっていることに注目しつつ、多文化共生社会における言語教育についても考える予定です。</p>		
8月1日(日) 14:20~16:00	2号棟4階 402会議室	渡瀬 茂
<p>新指導要領では「伝統的な言語文化に関する事項」が設けられ、詩歌や古典の学習が小学校においても重視されることとなりました。なかでも、低学年で神話・伝説が教材として加わったことや、中高学年で五音・七音のリズムが重視されていることが注目されます。この時間の前半では和歌・俳句に限らない国語のリズムを取り上げます。後半では日本的な神話の特徴をよくあらかず国産みの物語を題材にして、神話について説明します。</p>		
8月1日(日) 16:10~17:10	2号棟4階 402会議室	
■筆記試験・(筆記試験終了後) アンケート		

科目名	表現力豊かな子どもを育てる音楽の授業づくり			区分	選択
開講日	平成22年8月4日(水)				
講師	篠原良三(教育学部教授) 江頭義之(教育学部准教授) 山本千紗(教育学部助教)				
準備物 (持ち物)	自分の好きな童謡唱歌1曲(楽譜) 自分の好きなピアノ曲	評価 方法	筆記試験	認定	9月下旬(予定)

8月4日(水) 9:15~9:30	2号棟3階 303音楽室	江頭 義之
■オリエンテーション		
8月4日(水) 9:30~10:50	2号棟3階 303音楽室	江頭 義之
■音楽鑑賞 音楽には様々なジャンルがあり、民族や歴史、文化と密接につながっている。幼児教育の中で音楽は実践し(歌ったり演奏したりして)楽しむということが必要であるが、また同時に、入力として本物の良い音楽を聴き、触れるということも大切である。その為には教師自身が広い音楽的教養と知識、様々な音楽文化の認識が必要である。この講座では音楽の様々なジャンルを聞きながら、その歴史等を再確認し、その文化的背景や特色を検証していく。		
8月4日(水) 11:00~12:20	2号棟3階 303音楽室	篠原 良三
■歌唱指導の意義 ◎持参物:自分の好きな童謡唱歌1曲(楽譜) 音楽は心に生まれた想いを自己表現するものである。始めはつぶやくから歌へ。そしてその歌が生き生きとした感情を育てる。その原点が歌唱指導である。人間の呼吸や心拍数などは感情の起伏により細かな変化を見せる。声の声質も同じで、これらの関係は実は密接で自然なものといえる。歌うことにより抱かれた想いは、自己の中で留まることなく、より多くの人に様々な感情を呼び起こさせ、また共感を誘うものであると考えられる。		
8月4日(水) 13:10~14:30	音楽室・ML教室・PL教室	篠原・江頭・山本
■演習 ◎持参物:自分の好きなピアノ曲 音楽表現の実践演習を行う。①弾き歌いや重唱を中心とした歌唱表現 ②コードを用いたピアノ伴奏付け ③ピアノ演奏による高度な表現 …この三つの演習の中から選択し受講する。		
8月4日(水) 14:40~16:00	2号棟2階 ML教室	山本 千紗
■表現について 表現力豊かな子どもを育てることが教科音楽の目標の一つである。範奏や範唱を真似るだけではなく、身に付けた知識や技能を使って表現する力を養いたい。この講座では、楽曲分析と演奏解釈について理解を深め、何故そのように表現するのかを客観的に分析する方法を考える。また、子どもの自由な表現や想像力を伸ばすための伴奏法について、実技指導を行う。		
8月4日(水) 16:10~17:10	2号棟3階 303音楽室	山本 千紗
■筆記試験・(筆記試験終了後)アンケート		

科目名	発達臨床に基づく教育			区分	選択
開講日	平成22年8月6日(金)				
講師	大西雅子(教育学部助教) 林知代(芦屋大学臨床教育学部准教授)				
準備物 (持ち物)	なし	評価 方法	筆記試験	認定	9月下旬(予定)

8月6日(金) 9:25~9:30	1号棟3階 304講義室	戸江 茂博
■オリエンテーション		
8月6日(金) 9:30~10:50	1号棟3階 304講義室	林 知代
一人一人の教育的ニーズに応えるには、そのニーズについての[見立て]と[見通し]が必要である。特に発達障害及びグレーゾーンの児童・生徒に対して理解を深める為に有用な知識、情報をレクチャーすると共にその対応策を学ぶ。また校内、各機関との連携の課題やキャリア教育に繋がるライフスキル獲得に効果がある動物介在療法、心理学的手法の活用について演習を交えながら紹介する。		
■発達臨床に基づく教育Ⅰ：発達障害のアセスメントとその特性を理解する(学習面と生活面) 発達障害の診断基準と、診断の際に用いる各種アセスメントについて説明すると共に、子どもの学習面、生活面で表出する特性についてレクチャーを行う。		
8月6日(金) 11:00~12:20	1号棟3階 304講義室	林 知代
■発達臨床に基づく教育Ⅱ：発達障害と気になる子どもへの理解と対応(学習面と生活面) 主として教育臨床場面において直面する「きになる子ども」への理解を深めるために有用な概念と最新の研究成果を紹介すると共にその活用方法についてレクチャーを行う。		
8月6日(金) 13:30~14:50	1号棟3階 304講義室	大西 雅子
■連携の必要性和新たな課題 主として通常学級に通う発達障害系児童・生徒を対象に行われている特別支援教育についての事例紹介をしながら、学校コーディネーターの担う役割が円滑に活用されるために役に立つヒントやスキルを児童・生徒支援、保護者支援、地域支援の連携の必要性和共に解説を行う。また、教育現場で発生している新たな課題についてレクチャーを行う。		
8月6日(金) 15:00~16:20	1号棟3階 304講義室	大西 雅子
■キャリア教育に活かす各種療法 絵画療法、箱庭療法、音楽療法、動物介在療法、心理療法(認知行動療法他)など		
8月6日(金) 16:30~17:10	1号棟3階 304講義室	大西 雅子
■筆記試験・(筆記試験終了後)アンケート		

科目名	障害のある子どもの教育とケア			区分	選択
開講日	平成 22 年 8 月 7 日 (土)				
講 師	小河晶子 (教育学部教授) 勝田仁美 (看護学部教授)				
準備物 (持ち物)	なし	評価 方法	筆記試験	認定	9月下旬(予定)

8月7日(土) 9:15~9:30	1号棟3階 301講義室	勝田 仁美
■オリエンテーション		
8月7日(土) 9:30~10:50	1号棟3階 301講義室	小河 晶子
<p>■「クラスでちょっと気になる子、こんなふうに関わってみては…1」</p> <p>1. 発達障害とは：アメリカ精神医学会による DSM-IVTR に基づく定義と日本の発達障害者支援法による定義を確認。その後、教育や、療育現場で頻繁に用いられている4つの療法について理解を深める。 2. インリラル・アプローチについて 3. 行動療法について</p>		
8月7日(土) 11:00~12:20	1号棟3階 301講義室	小河 晶子
<p>■「クラスでちょっと気になる子、こんなふうに関わってみては…2」</p> <p>4. TEACCHについて 5. 感覚統合療法の視点をういた指導(活動)について I 感覚統合とは何か。子どものちょっと気になる行動と感覚統合上の問題にはどんな関係があるのか。感覚統合障害とはどんな障害なのか。講義形式で行う。</p>		
8月7日(土) 13:20~14:00	1号棟3階 301講義室	小河 晶子
<p>■「クラスでちょっと気になる子、こんなふうに関わってみては…3」</p> <p>6. 感覚統合両方の視点をういた指導(活動)について II 感覚統合療法の視点をういた活動にはどんな効用があるのか。具体的にどんな活動をしたらよいのか。実際に遊具を用いながら行う。</p>		
8月7日(土) 14:00~14:30	1号棟3階 301講義室	小河 晶子
■筆記試験		
8月7日(土) 14:45~16:25	1号棟3階 304講義室	勝田 仁美
<p>■「病気や障害をもつ子どもへの関わり」</p> <p>子どもが病気や障害をもつということは、どのようなことか、また病気や障害をもつ子どもを育てる家族の生活や思いを知る。学校における病児や障害児への関わり方やクラスへの働きかけ方などについて発達段階の特徴をふまえて考える機会となるようにする。また、子ども自身のエンパワーメントについて学びを深める。これまでの研究結果や病気や障害をもつ子どもたちに焦点を当てた V T R を活用して講義形式で行う。</p>		
8月7日(土) 16:35~17:05	1号棟3階 304講義室	勝田 仁美
■筆記試験・(筆記試験終了後) アンケート		

科目名	養護教諭の今日的役割			区分	選択
開講日	平成 22 年 8 月 8 日 (日)				
講 師	新川加奈子 (教育学部教授) 神原咲子 (看護学部講師) 坊垣友美 (教育学部講師) 松浦崇 (教育学部講師)				
準備物 (持ち物)	なし	評価 方法	筆記試験	認定	9月下旬 (予定)

8 月 8 日 (日) 9:20~9:30	1 号棟 3 階 304 講義室	坊垣 友美
■オリエンテーション		
8 月 8 日 (日) 9:30~10:45	1 号棟 3 階 304 講義室	神原 咲子
<p>■「生活リズムと子どもの生活習慣病」</p> <p>現在、日本では生活習慣病が増加の一途をたどっている。その最大の原因は肥満であり、食習慣、生活リズムの変化や運動不足などが理由に挙げられるが、成人して発病してから子どものころからのそのような習慣を変えることは大変困難である。それにとどまらず、子ども自体の生活習慣病が急増しており、大変な社会問題へとつながっている。本講習では、講義とグループワークを行い、子どもの肥満予防、肥満解消、偏食対策について考えていきたい。</p>		
8 月 8 日 (日) 10:55~12:10	1 号棟 3 階 304 講義室	松浦 崇
<p>■「今日の社会変化と貧困問題の深刻化」</p> <p>公的医療保険を使えない「無保険」状態の子ども、朝ご飯を食べてくることができない子どもなど、貧困問題の深刻化が大きな問題となっており、子どもの心身の発達に深刻な影響を与えている。本講習では、養護教諭として子どもが抱える問題を正確に把握するための基礎として、今日の社会変化と子どもの貧困問題について講義し、教育者としてどのように問題に当たるのか検討する。</p>		
8 月 8 日 (日) 13:10~14:15	1 号棟 3 階 304 講義室	新川 加奈子
<p>■「現代の親子とのかかわり方、接し方」</p> <p>三つの話題を中心に講義を進める。</p> <p>1) 20 代、30 代の女性の状況を、以下の三つの視点①戦後からの親子四代の関係②人口動態統計より“現代の結婚”状況③特殊合計出生率と完結出生児数より明らかにし、親との接し方を考える。</p> <p>2) 母親と子どもの関係①女性神話・三歳児神話に関する是非論および②子どもという価値③「居心地論」「自分の気持ち至上主義」より現代の親子とのかかわり方を考える。</p> <p>3) 子どもとのかかわり方：「気分が悪くお腹が痛い」という現象が起こるメカニズムの例を科学的に分析し、子どもへの対応を改めて認識する。</p>		

8月8日(日) 14:25~15:40	1号棟3階 304講義室	坊垣 友美
<p>■「子どもの「生きる」力を支えるメディカルアロマセラピー」</p> <p>社会状況の変化に伴い、生活習慣の乱れ、いじめ・不登校など子どもの心身の健康問題は多様化・深刻化している。このような健康問題の背景において養護教諭には子ども達の心の居場所としての保健室の運営や健康相談活動等を通してきめ細やかな対応が求められている。そこで、子どもの心と体に作用して、脳からみた「生きる」力を支えることができるといわれているメディカルアロマセラピーを取り上げる。講義ではメディカルアロマセラピーの概要と養護の技術への応用可能性を説明する。さらにアロマオイルを用いたハンドマッサージの演習を行い、香りの効果を体験してもらう。</p>		
8月8日(日) 15:50~16:50	1号棟3階 304講義室	坊垣 友美
<p>■筆記試験・(筆記試験終了後) アンケート</p>		